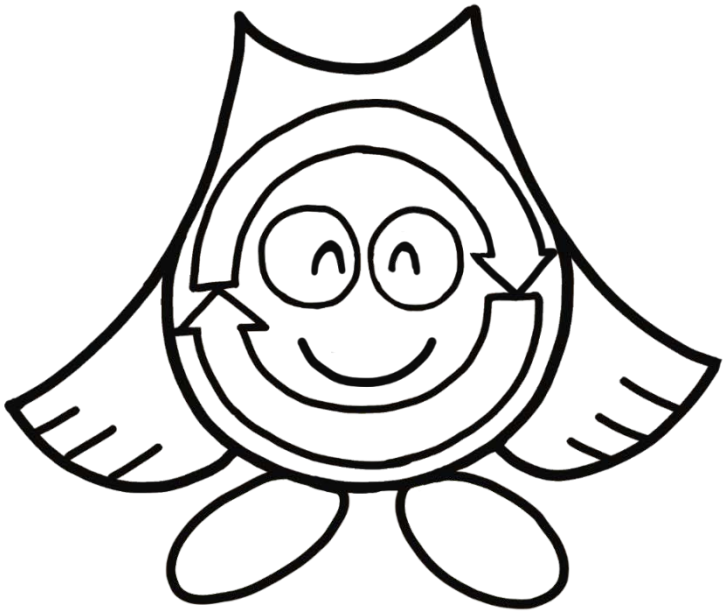
令和７年度　秋田県小坂町派遣事業

親子ごみツアーｉｎ秋田県小坂町

報告書



松戸市ごみ減らしシンボルキャラクター

クリンクルちゃん

目　　次

１．事業目的　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　　１頁

２．募集要項　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　　１頁

３．抽選会　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　　２頁

４．オリエンテーション　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　　３頁

５．秋田県小坂町派遣　　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　　４頁

６．秋田県小坂町派遣　アンケート結果・感想　・・・・・・・・　　８頁

７．感想文　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５頁

８．報告書「３Ｒの活動にチャレンジしよう！」・・・・・・・・　１９頁

１．事業目的

秋田県小坂町にあるごみの最終処分場やリサイクル施設を訪れ、松戸市のごみが最終的にどのように処理されているのかを見学し、ごみの減量やリサイクルについて学ぶことを目的とする。

■最終処分場とは・・・
ごみの焼却や資源の分別などの処理をすると、最後には焼却灰などが残ります。残ったものを最終的に埋立処分する施設のことを「最終処分場」といいます。
松戸市で発生したごみのうち、焼却処理されて灰になったものの一部は、秋田県小坂町の最終処分場まで運ばれて埋め立てられています。

２．募集要項

【 対象 】
松戸市内在住の小学４年生の児童とその保護者で、ごみの減量やリサイクルについて学ぶ意欲があり、事前研修を含め、研修日程の全てに参加できる方

【 定員 】
小学４年生の児童とその保護者５組（１０名）※応募者が定員を超える場合は抽選

【 研修日程 】
（１）事前研修
松戸市のごみ処理の現状やごみの減量･リサイクル等について学習するオリエンテーションを実施
・場所 ： 和名ケ谷クリーンセンター
・日時 ： 令和７年７月３０日（水）午前１０時から１２時

（２）派遣研修
・場所 ： 秋田県小坂町
・期間 ： ８月２１日(木)～８月２２日(金) １泊２日
・内容 ： 最終処分場やリサイクル施設の見学等
・同行者 ： 松戸市職員２名、添乗員１名

（３）事後報告
本事業に参加した感想やアンケート等の報告書を提出

【 費用 】

市の負担　松戸駅から秋田県小坂町までの往復交通運賃、宿泊費、貸切バス代、見学施設利用料、旅行保険料、８月２１日(木)の昼食・夕食、８月２２日(金)の朝食・昼食

自己負担　事前研修等にかかる会場(市内)までの交通費、及び派遣研修当日の松戸駅までの交通費など、市の負担以外の費用

【 申込方法 】

方法１　インターネット（松戸市オンライン申請システム）で申し込み

方法２　参加申込用紙に記入して、環境政策課へ郵送

【 申込期限 】

令和７年５月３０日(金)　午後５時まで(郵送の場合は必着)

３．抽選会

【 日程 】　令和７年６月３０日（月）　Zoom ミーティング開催

開催：午後６時　　終了：午後６時２０分

【 申込状況 】１８４組

【 抽選方法 】事前に申込者全員に申込番号を割り振って通知する。

その後、抽選会において、回転式抽選機により当選者番号を抽選し、当選者５組１０名を決定する。

【 抽選結果 】５組１０名

（当選者番号：２番・７０番・１３０番・１３４番・１６９番）

４．オリエンテーション

【 日程 】　令和７年７月３０日（水）　午前１０時から１２時まで

【 場所 】　和名ケ谷クリーンセンター

【 参加者 】　親子５組１０名

【 内容 】

（１）事業内容・注意事項説明

（２）環境学習「減らそうごみ～できることからはじめよう」

松戸市のごみ処理の現状、ごみの減量方法や３Ｒについて、クイズ等を通して学びました。

（３）和名ケ谷クリーンセンターの見学・施設説明

実際に和名ケ谷クリーンセンターを見学し、どのように可燃ごみを処理しているのか、その処理の流れや工夫について学びました。

※オリエンテーションのアンケート結果については、８頁・９頁参照。

５．秋田県小坂町派遣

【 参加者 】　親子４組８名（親子１組２名は体調不良のため欠席）

【 行程 】

日	令和７年８月２１日（木）	令和７年８月２２日（金）
行程	７：３０　松戸駅集合 ７：４２　松戸駅出発 ８：０５　上野駅到着 ８：４３　上野駅出発 １０：５５　盛岡駅到着 １１：１０　盛岡駅出発 １２：１５　昼食 １３：３０　秋田県小坂町到着 最終処分場・ リサイクル施設等見学 ・あきたエコタウンセンター ・グリーンフィル小坂株式会社 （最終処分場） ・小坂製錬株式会社 （リサイクル施設） １６：２０　小坂町役場訪問 １７：００　宿泊ホテル到着 １８：００　夕食 食事終了後に解散	６：３０～　朝食 ８：５０　ホテルロビー集合 ９：０５　小坂鉄道 レールパーク見学 １０：００　小坂鉱山事務所 見学 １１：００　昼食 １１：４０　出発 １２：００　道の駅（休憩） １２：３０　盛岡駅へ出発 １４：００　盛岡駅到着 １４：５０　盛岡駅出発 １６：５８　上野駅到着 １７：１２　上野駅出発 １７：３１　松戸駅到着 解散

（１）あきたエコタウンセンターの見学

あきたエコタウンセンターを案内する方から概要説明、動画の視聴をとおして小坂町について学び、秋田県の鉱山の歴史から、都市鉱山と呼ばれる使用済みの家電や携帯電話、パソコン等から再び金属を回収・リサイクルする技術を説明していただきました。

（２）グリーンフィル小坂株式会社の見学

平成 17 年 1 月から稼働している日本最大級（270 万㎥）の最終処分場を見学しました。

松戸市から発生した可燃ごみが焼却処理され、灰になったものの一部がグリーンフィル小坂株式会社に埋め立てられ最終処分されています。最終処分場は埋立てられる容量も限りがあるため、最終処分場を長く使用出来るようにごみを減らしていくことの重要さを学びました。

（３）小坂製錬株式会社の見学

世界中から集められた電子基板（廃家電や携帯電話、パソコン等の部品）の都市鉱山には、金、銀、銅等多くのレアメタルが含まれています。

小坂製錬株式会社では、そのレアメタルを回収し金、銀、銅等を生産し電子機器や自動車などの産業分野に届けています。

また、今回は製錬された金と銀のインゴットを特別に見学させていただきました。

（４）小坂町役場訪問

小坂町役場にて、細越満町長から小坂町の紹介をしていただきました。また、小坂町と松戸市について意見交換を行いました。

（５）小坂鉄道レールパークの見学

旧小坂鉄道の線路と設備、当時の小坂駅舎、大正から昭和にかけて使用されていた車両の展示場等を見学しました。

（６）小坂鉱山事務所の見学

明治 38 年（1905 年）に建設、平成 13 年に移築・復元され、近代化産業遺産として国の重要文化財にも指定されている施設です。当時の姿のままのルネッサンス風の外観やらせん階段、小坂町に関する展示物を見学し、明治から大正期にかけての小坂町の歴史や小坂鉱山の設備について説明していただきました。

※小坂町派遣のアンケート結果・感想文については、１０頁～１８頁参照。

６．秋田県小坂町派遣事業　アンケート結果・感想

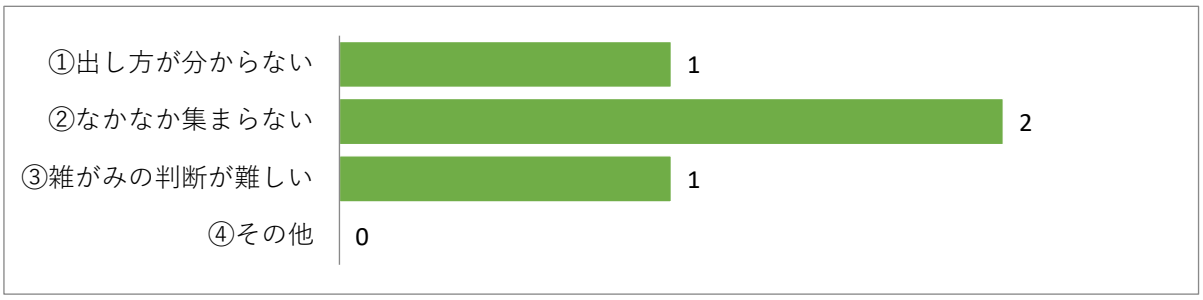
【秋田県小坂町派遣前　アンケート集計結果】

アンケート回答者　親子５組

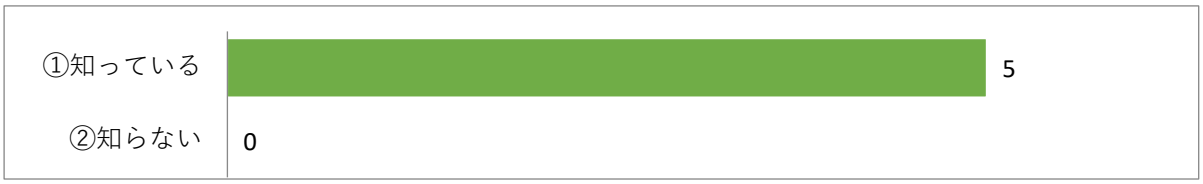
（１）ごみ処理の対策として、資源を有効活用する為の考え方『３R』を知っていますか。

（２）雑がみを資源ごみに出していますか。

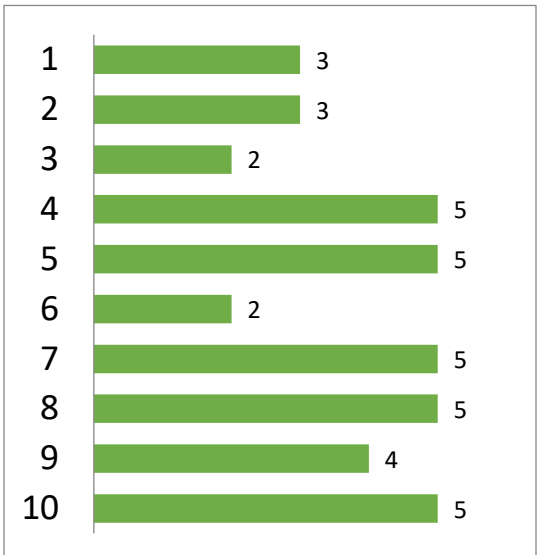
（３）雑がみを可燃ごみに出す理由はどれですか。（複数可）



（４）食品ロスを知っていますか。



（５）ごみを減らすために挑戦している取り組みはありますか。



1. よぶんなものは買わない
2. 使い捨て製品はできるだけ買わない・利用しない
3. 使い捨て製品は、むだ使いしない
4. レジ袋はもらわず、マイバッグを利用する
5. ペットボトルの代わりに水筒などを使う
6. ものを大切に修理して長く使う
7. 使わなくなったものを捨てずに、必要な人にゆずる
8. 食べ残しをしない
9. ごみの分別ルールを知っている・守る
10. ごみのポイ捨ては絶対にしない

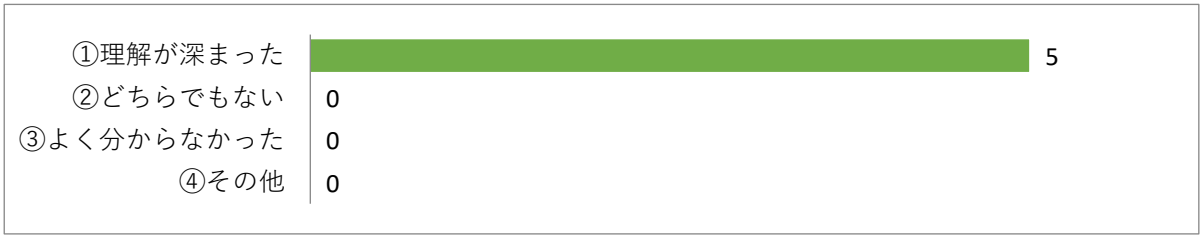
【オリエンテーション　アンケート集計結果】

実施日　　令和７年７月３０日（水）
参加人数　　親子５組１０名（大人５名、子ども５名）
アンケート回答者　親子５組

（１）オリエンテーションの時期はいかがでしたか。

（２）環境学習の内容はいかがでしたか。

（３）和名ケ谷クリーンセンターの見学内容はいかがでしたか。



（４）オリエンテーションに参加してのご意見、ご感想等をお聞かせ下さい。（保護者様）

・普段見ることができないクリーンセンターを見学できて、とても勉強になった。秋田に行く前に参加者の方と会って自己紹介ができたのは良いと思った。

・とても勉強になりました。毎日何かしらのごみを出してしまっているので少しでもごみを減らす努力をしていこうと思いました。この機会をいただき、感謝しています。

・普段何気なく捨てているごみを処理するのに大変な手間がかかっていることを知り、3Rができるよう心がけていきたいと思いました。見学がとても興味深く、秋田へ行くのがより楽しみになりました。

・ごみの分別や行方、回収量など、普段なかなか意識していなかったことも楽しく学べたと思います。秋田へ行くまでに家族でできそうなことに意識を向けることができました。

・ごみについての松戸市の現状や、3Rの大切さなどを知ることができた。これから家庭でできることを始めていきたい。

（５）「減らそうごみ～できることからはじめよう～」を聞いてわかったことや、
和名ケ谷クリーンセンターを見学した感想を教えてください。（お子様）

・いろいろなごみを燃やしてクリーンセンターは良いことをしていることがわかった。

・楽しかったし、いろいろなところが知れたので良かった。

・いろんなことを知ることができて楽しかった。

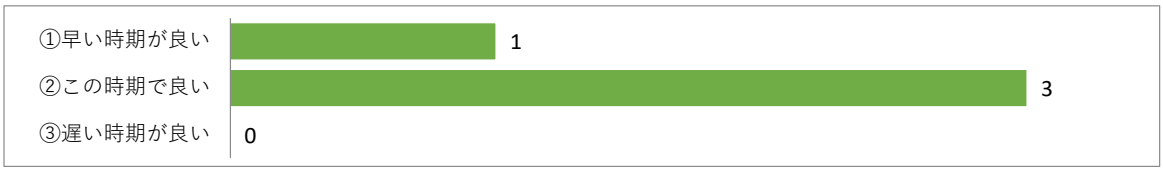
・クレーンで一度に2トンのごみをつかめるということがわかった。

・雑がみを資源ごみに出すというのも、３つのRも知ることができて、やってみたくなりました。実際に見てみると迫力があっておもしろいし、深くわかりました。

【親子ごみツアーin秋田県小坂町　アンケート（保護者）集計結果】

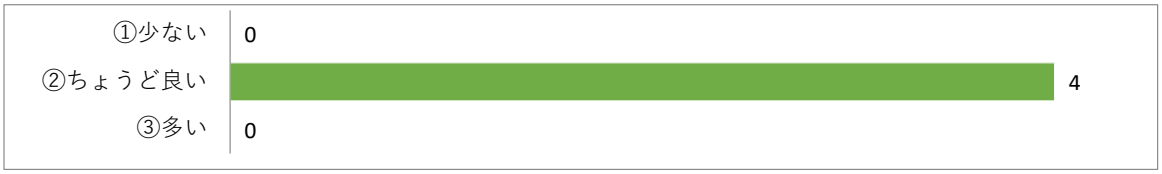
実施日　　令和７年８月２１日（木）～令和７年８月２２日（金）
参加人数　　８名（大人４名、子ども４名）
アンケート回答者　保護者４名

（１）秋田県小坂町への派遣時期はいかがでしたか。

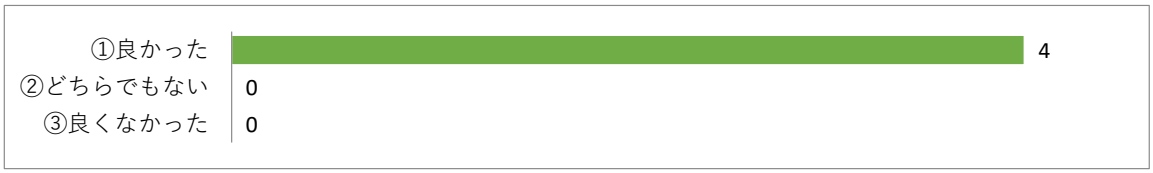


（その他意見・具体的な希望日程）・８月前半（お盆前）

（２）派遣人数はいかがでしたか。

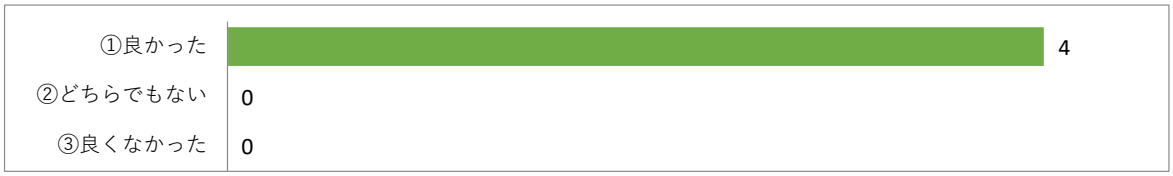


（３）見学のスケジュールはいかがでしたか。



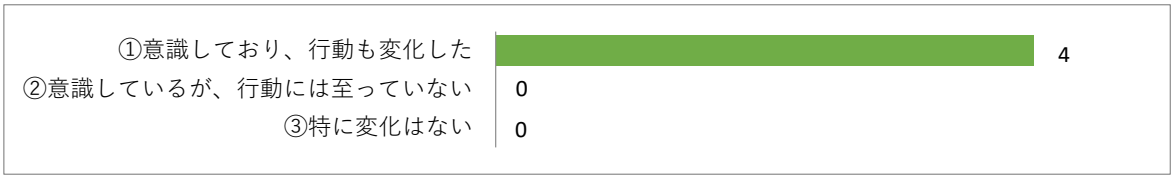
（その他意見・感想）
・主要施設はゆっくり観れて、現地の方からお話を聞く時間はしっかり確保されつつ、食事やフリータイムもあってお楽しみが合間にあったことで子どもたちも飽きずに学べたと思います。
・ごみ処理施設以外のレールパーク、小坂鉱山事務所にも伺いましたが、時間内に詰め込み過ぎていなかったので、子供も楽しく見学できたと思います。
・いろいろな場所を効率よく周ることが出来て良かったです。

（４）見学内容はいかがでしたか。



（その他意見・感想）
・普段、個人では入れない場所に行けたり、移動中に小話を聞けて面白かったです。子供以上に保護者の方が楽しんでいたかもしれません。「鉱山のまち」や「精錬技術」など耳で聞くだけでは難しい言葉も、実際に見たり触れたりすることで理解が深まり、大変勉強になりました。
・個人ではなかなか行けない最終処分場やリサイクル施設などを実際に見たり、お話を聞くことが出来て勉強になりました。
・秋田エコタウンセンターでの説明は、子供には少々難しく感じました。最終処分場、インゴッドに触れるなど普段の生活では出来ないとても貴重な体験が出来ました。

（５）ごみの分別や出し方、３Ｒの意識や行動は参加前と比べて変わりましたか。



（その他意見・感想）

・以前からごみの分別についてはきちんと行いたいと思ってごみを出していましたが、「まずはごみを生まないようにすること」をより意識するようになりました。すぐ壊れて捨てることになりそうな小さなものではなく、少々高くても長く使えるものを選んでいきたいです。

・雑がみについて、小さなメモ用紙やお菓子の包装紙も含まれていることを知りました。雑がみ袋に集めてみると今まで知らないうちに可燃ごみに捨てていたことに気が付きました。こまめに雑がみ袋に集めてリサイクルに出すようになりました。

・最終処分場の埋め立てには限りがあること、異物があると従業員の方のけがにつながること、環境に配慮していることなど実際に見聞きし、ごみを減らす努力をしようと思いました。

（６）親子ごみツアーin 秋田県小坂町に参加してのご意見、ご感想等をお聞かせください。

- この度はまたとない学び多き経験をさせていただきありがとうございました。このツアーに当選したことを知ってから、図書館でごみ処理やリサイクルについての本を子どもが自分から沢山借りて学ぶ意欲が高まっていました。実際に普段は入れないようなところを見せていただいたり、現場で働いている方々から生の声、お話を聞けたことで親子共々とても勉強になりました。スケジュールも子供目線で組んでくださっていて、とても楽しく２日間を過ごすことができました。学校単位で行くのと違って、小人数だったからこそ他の参加者の皆さんとも交流ができたし、和やかに、かつ、自分たちが主体性をもって参加できた点も良かったです。

- この度は親子で貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。松戸市のごみ処理の現状や最終処分場のことなど、知らないことも多かったので、大変勉強になりました。オリエンテーションや小坂町での見学において、ごみの減量や正しく分別することが大切であることがよく分かりました。これからは今回学んだことを活かして、３Ｒを心がけ、実践していきたいと思います。

- ごみというとどうしても汚いイメージを持ってしまっていましたが、最終処分場を見学させていただき、その綺麗さに驚きました。子供も教科書で見たり、授業で習ったことを実際に目で見たことで、ごみの減量や３Ｒの大切さなど感じることが多かったようです。私の周りでは皆松戸市で出たごみの灰の一部が秋田県で処理されていることを知りませんでした。もっと松戸市民に知ってもらい、一人一人の意識を高められれば良いと思います。

- 松戸市から出たごみの灰が小坂町の最終処分場で処理されている事を知らない市民は多いと思います。市全体でアピールしたり、学校で講演する機会があれば周知されるかなと思いました。ごみ処理施設だけでなく、町役場訪問、レールパーク、鉱山事務所に連れて行って下さったり、美味しい秋田のグルメも堪能することが出来て心より感謝しております。今後は、家庭でもごみを減らす工夫を話して実行したいです。オリエンテーション、２日間の秋田を通して、大変勉強になりました。ごみに対する意識が変わったと思います。楽しい時間を過ごすことができました。

【親子ごみツアーin 秋田県小坂町　感想文（子ども）】

（１）オリエンテーション～最終処分場の見学を通して分かったことを教えてください

- 松戸市のごみは和名ケ谷クリーンセンター１か所で焼却している。松戸市の焼却灰の一部は小坂町の最終処分場に運ばれる。ハサミや包丁など危ないものを分別しないで可燃ごみに出してしまうと燃え残って最終処分場まで行ってしまい、作業員さんのけがや作業車のタイヤのパンク、シートに穴をあけるなどの危険がある。

- オリエンテーションでごみを減らさないといけない理由を知って、最終処分場を実際に見て、ごみを減らさないとどうなるかの予想がついたので、減らすように心がけながらまわりにも伝えていけばいいことがわかりました。

- 使用ずみの携帯電話やパソコンには金、銀、銅などの金属がふくまれていて、取り出してリサイクルしていることがわかりました。一人一人が３Ｒを心がけることが大切だということがわかりました。

- 安全を確保するためのガスぬきパイプや汚れた水をきれいにしてから流す施設があり灰をうめているだけでなく人にも環境にもやさしいことがわかりました。大きな場所なのにあと２０年でいっぱいになると知って、一人一人がごみをへらす努力をしないといけないと思いました。

（２）見学の中で、特に興味を持ったところを教えてください

- 電子機器や家電などのごみを都市鉱山といい、その中にはたくさんの種類の金属がふくまれていた。そこから取り出した金属をさわらせてもらった。

- 小坂鉄道レールパークで「展示されている機関車は実際に動けるのか」です。あと「機関車を何かに活躍しようと考えているのか」です。

- 秋田まで行って実際に自分の目で見た最終処分場は、教科書で見て想像したものより大きくてびっくりしました。

- 見学に行く前はどうくつに入って金銀を取ると思っていましたが、スマホなどの電子機器から金、銀を取り出してインゴッドにしていました。初めて知って「すごいな」と思いました。金のインゴッドはキラキラしていて重かったです。

（３）ごみを減らすために、これからチャレンジしていきたいことを教えてください

- つめかえ用を使う。外出先では水筒を持って行きペットボトル製品を買わない。ポイ捨てをしない。こわれたものは直して長く使う。分別はきちんとする。食べられる分だけ用意して残さない。

- ごみの分別や３Ｒに心がけていきたいです。３Ｒをみなさんに知ってもらってできることはやっていくを続けていれば、きっとごみも減るので、みなさんに知ってもらえるように心がけていきたいです。

- 給食を残すと食品ロスになるから少ししか食べられない人は給食当番に「少なめにお皿にもって下さい」と言う。残った給食はおかわりしたい人が食べるから食品ロスが減ると思います。他には、レジ袋はもらわないで自分のバッグを使う。３Ｒのリデュース、リユースは自分一人でできるからリデュース、リユースをしたいです。

- なるべくレジ袋はもらわないで、マイバッグを使うこと。ごみの分別ルールを守ること。

感想文（こども用）

1　オリエンテーション～最終処分場の見学をとおして、わかったことを教えてください

安全を確保するためのガスぬきパイプや、汚れた水をきれいにしてから流す施設があり灰をうめているだけではなく人にも環境にもやさしいことがわかりました。大きな場所なのにあと20年でいっぱいになると知って、一人一人がごみを減らす努力をしないといけないと思いました。

2　見学の中で、とくに興味を持ったところを教えてください

見学に行く前はどうくつに入って金、金銀を取ると思っていましたが、スマホなどの電子機器から金、金銀を取り出してインゴットにしていました。初めて知って「すごいな」と思いました。金のインゴットはキラキラしていて重かったです。

3　ごみをへらすために、これからチャレンジしていきたいことを教えてください

給食をのこすと食品ロスになるから少ししか食べられない人は給食当番に「少なめにお皿にもって下さい」と言う。残った給食はおかわりしたい人が食べるから食品ロスがへると思います。他には、レジ袋はもらわないで自分のバックを使う。3Rのリデュース、リユースは自分一人でできるからリデュースリユースをしたいです。

ありがとうございました！

東松戸　小学校

名　前　浅野圭亮

感想文（こども用）

1　オリエンテーション～最終処分場の見学をとおして、わかったことを教えてください

使用ずみのけいたい電話やパソコンには、金、銀、どうなどの金ぞくがふくまれていて、取り出してリサイクルしていることがわかりました。1人1人が3Rを心がけることが大切というまがわかりました。

2　見学の中で、とくに興味を持ったところを教えてください

秋田まで行って実さいに自分の目で見た最終処分場は、教科書で見て想ぞうしていたものより大きくてびっくりしました。

3　ごみをへらすために、これからチャレンジしていきたいことを教えてください

なるべくレジぶくろはもらわないで、マイバッグを使うこと。ゴミの分別ルールを守ること。

寒風台　小学校

名前　黒澤　圭介

感想文（こども用）

1　オリエンテーション～最終処分場の見学をとおして、わかったことを教えてください

松戸市のごみは、和名ヶ谷クリーンセンター1ヵ所で焼却している。
松戸市の焼却灰の一部は小坂町の最終処分場に運ばれる。
ハサミや包丁など燃えないものを分別しないで燃やすごみに出してしまうと燃え残って最終処分場にまで行ってしまい作業員さんのケガや作業車のタイヤのパンク、シートに穴をあけるなどの危険がある。

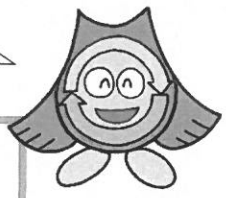
2　見学の中で、とくに興味を持ったところを教えてください

電子機器や家電などのごみを都市鉱山といい、その中には、たくさんの種類の金属がふくまれていた。そこから取り出した金属をさわらせてもらった。

3　ごみをへらすために、これからチャレンジしていきたいことを教えてください

つめかえ用を使う。外出先では水とうを持って行きペットボトルせいひんを買わない。ポイ捨てをしない
こわれたものは、直して長く使う。分別はきちんとする。
食べれる分だけ用意して残さない。

ありがとうございました！



幸谷小学校

名前　佐藤王英斗

感想文（こども用）

1　オリエンテーション～最終処分場の見学をとおして、わかったことを教えてください

オリエンテーションでごみをへらさないといけないりゆうをしって最終処分場を。じっさいにみてごみをへらさないとどうなるかのよそうがついたのでへらすようにこころがけながらまわりにもつたえていけばいいとおもいました。

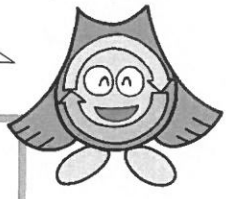
2　見学の中で、とくに興味を持ったところを教えてください

小坂鉄道レールパークでてんじされている機関車はじっさいにうごけるのがです。あと『機関車を何かにかつやくしようと考えているのがです。

3　ごみをへらすために、これからチャレンジしていきたいことを教えてください

ごみのぶんべつや3Rにこころがけていきたいです。3Rをみなさんにしってもらってできることはやっていくをつづけていればきっとごみもへるのでみなさんにしってもらえるように心がけていきたいです。

ありがとうございました！



東木公立小学校

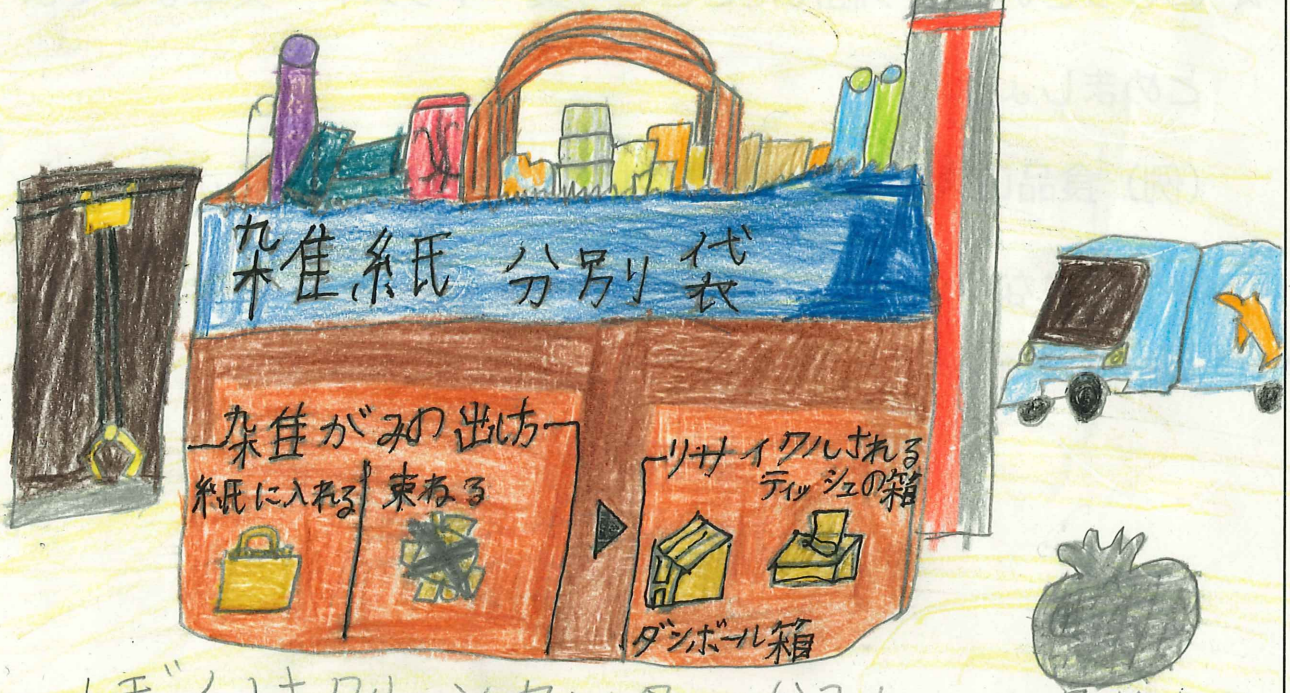
名前　宮内彩衣

３Ｒの活動にチャレンジしよう！

① テーマ

紙袋に紙を分別したよ

② 取り組んだこと（写真・イラスト・文章など）



ぼくはクリーンセンターからもらった紙袋に紙を入れ分別しました。

思った以上に紙がいっぱいあったのでびっくり

学校名　東松戸 小学校

氏名　浅野圭亮

３Ｒの活動にチャレンジしよう！

① テーマ　紙住がみあつめにチャレンジ

② 取り組んだこと（写真・イラスト・文章など）

家庭で出た雑紙（おかし箱、ふとう、ティッシュ、メモ用紙、牛乳パック、トイレットペーパーしん、チラシなど）を分別して集めた。

学校名　かきのき台小学校

氏名　阿吉乃太郎

３Ｒの活動にチャレンジしよう！

① テーマ

へらそうビニールのゴミ

② 取り組んだこと（写真・イラスト・文章など）

スーパーやコンビニに行った時に、
レジぶくろはもらわずマイバッグを使った。

学校名　寒風台　小学校

氏名　黒澤圭介

３Ｒの活動にチャレンジしよう！

① テーマ

ごみをへらすために

② 取り組んだこと（写真・イラスト・文章など）

ごみをへらすためにマイボトルを利用したり
ご食友を万残さないようにしたりした。

学校名　幸谷小学校

氏名　佐藤玉英斗（さとうえいと）

３Ｒの活動にチャレンジしよう！

① テーマ

ざつがみの分べつで可燃ごみをへらそう！

② 取り組んだこと（写真・イラスト・文章など）

＜しゅだん＞

①ざつがみを入れる紙ぶくろをよういする。

②家族にざつがみを入れる紙ぶくろを伝える。

③ざつがみといっしょする物を紙ぶくろに入れる。

④まんぱんになったら資原ゴミとして出す。

学校名　東松戸　小学校

氏名　宮内彩衣

〒２７１－８５８８　松戸市根本３８７番地の５
松戸市役所　環境部　環境政策課
電　話：０４７－３６６－７０８９
ＦＡＸ：０４７―３６６－８１１４
メール：mckankyou@city.matsudo.chiba.jp